

オンライン会議ツール Zoomで開催！

# がん・難病を患って気づいた幸せ ～一生懸命生きるということ～



がんや難病の当事者とその治療や生活を支える方とで、  
それぞれの苦しみや幸せに寄り添うヒントを見つけませんか？

語らいのなかで、サポートのあり方や  
自分自身の生き方を見つめ直すきっかけをご一緒に探しましょう。

【日 時】2020年5月30日(土)19時～20時30分

【ゲ ス ト】白水 千穂氏・落水 洋介氏

【スケジュール】自己紹介をかねたプレゼンテーション(15分×3名)  
(予定) 質疑応答・ディスカッション ※進行／岡江 晃児氏

【定 員】50名

【対 象】がん・難病の当事者、医療・介護関係者、企業・行政・その他興味のある方、学生

【参 加 費】無料

【締 め 切 り】2020年5月28日(木)

【申 し 込 み】参加される方全員のお名前・所属機関・メールアドレスを明記の上、  
メールにてお申し込みください。後日、URLをお送り致します。

✉arita@medicalconsortium.jp(有田)

## 登壇者紹介



白水 千穂(しろうず ちほ)氏

福岡県生まれ。建設会社勤務、がん当事者、NPO法人キャンサーリボンズサバイバーボードメンバー。2015年10月に激しい腹痛で緊急入院。ステージⅣの虫垂がんと診断される。手術は成功したが、腹膜播種の状態、その後は治療ではなく延命治療を行うと医師より告げられる。現在、月に2回の治療を続けながら、福岡県の建設会社で事務職として働く。がんと就労や暮らしなどについての講演活動を行う。



総合司会／  
有田 円香(ありた まどか)  
大分県出身。北九州市の病院で広報担当。



落水 洋介(おちみず ようすけ)氏

1982年生まれ、北九州市出身。小学生時代は元日本代表FW大久保嘉人選手と北九州市選抜サッカーチームでプレー経験あり。2013年、PLS(原発性側索硬化症)を発症。身体・手足・口が少しずつ動かなくなり、数年後に寝たきりになる病気。現在は電動車椅子にて活動。北九州市を中心に、地域の職業人とキャリア教育の講師やユニバーサルマナー講師、学校、企業、地域の団体などで講演活動を行う。現在、社会福祉法人もやい聖友会で広報として働きながら活動が続ける。



岡江 晃児(おかえ こうじ)氏

2005年鹿児島国際大学福祉社会学部卒業。国立病院機構大分医療センターに初代ソーシャルワーカーとして入職、地域医療連携室を立ち上げる。2014年大分大学大学院福祉社会科学研究科修了。2016年度より大学非常勤講師として学生への教育にも関わっている。全国各地でソーシャルワークに関する講演や執筆活動、テレビ出演や新聞等のマスコミにも取り上げられ、岡江氏をモデルにしたマンガも出版されている。2018年4月、(大分県)杵築市医療介護連携課。